

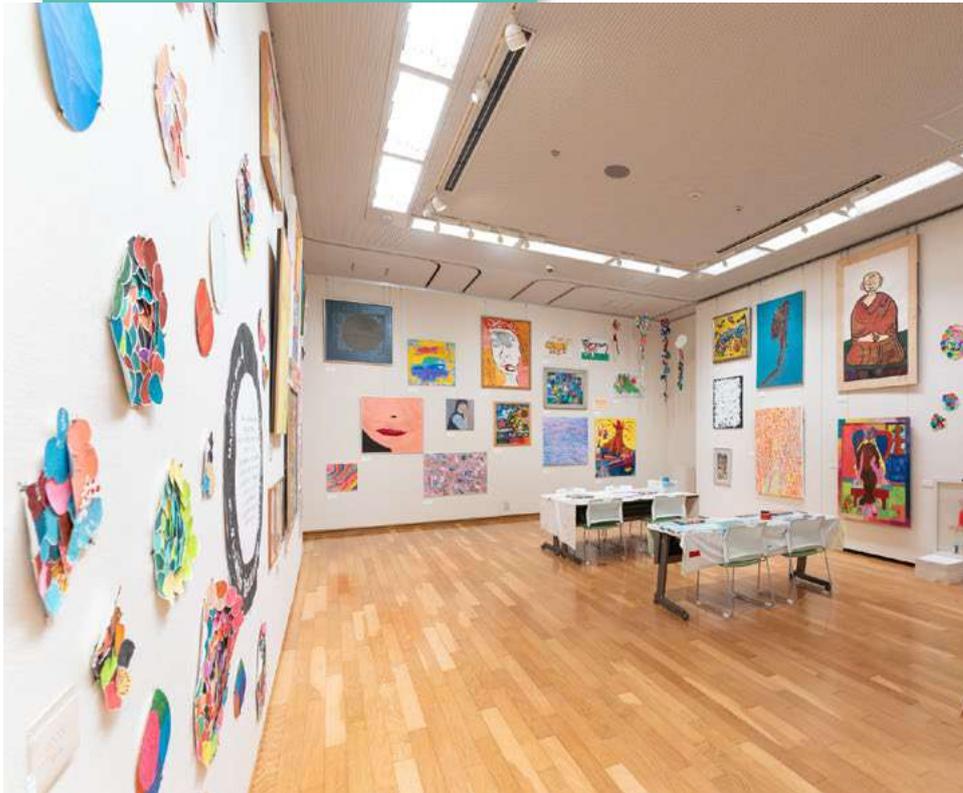
Contents

- ・【報告】特別展『みんなのMuseumプロジェクト企画まるごと〇展』
- ・【開催中】企画展『キンビ写真コレクション』
- ・【報告】令和7年度改修について
- ・【報告】ふれんどリーギャラリー
- ・【報告】コレクション展第2期
- ・【開催中】コレクション展第3期
- ・【報告】令和7年度ネットワーク事業

秋田県立近代美術館ニュース [アーク]

ARK No.91

2025.10
—2026.3



▲当館の所蔵作品と多様な背景を持つ人々の作品を同じ空間に展示



▲笑顔があふれたアーティストトーク



▲聞こえづらい方との対話による鑑賞を考えるワークショップ



【会期】
2025年9月13日(土)～
11月9日(日)
※11月3日(月)文化の日は[無料公開]

(担当：北島・保泉・木村)

「ご縁」が生まれました。

ご高齢の方、障がいのある方まで多様な人々が集い、会期中には4500人もの方にご来場いただく大盛況となり、アートを介したたくさんの

「ご縁」が生まれました。

オープニングイベントには小さな子どもからみ込む「輪(和)」など、〇から広がる多様なイメージのもと、各館の所蔵品をはじめ、現代作家の作品や障がいのある方の作品まで幅広く展示し、インクルーシブなワークショップも展開しました。

4館(県立博物館、県立農業科学館、県立美術館)が連携を深め、その集大成として「まるごと〇展」を開催しました。本展のテーマは「〇」です。「円(縁)」や「循環」、あるいはすべてを包み込む「輪(和)」など、〇から広がる多様なイメージのもと、各館の所蔵品をはじめ、現代作家の作品や障がいのある方の作品まで幅広く展示し、インクルーシブなワークショップも展開しました。

「みんなのMuseumプロジェクト」は、誰もがアートを通じて楽しみ、出会い、つながり合える場を創出する取り組みです。3年目の令和7年度は県立の博物館施設



たくさんの方楽しんでいただいたオープニングイベント▶

特別展 報告

みんなのMuseumプロジェクト企画
まるごと〇(まる)展

コレクション展

報告

〈第2期〉

三浦明範 VERITAS



▲初期から近作までの作品が並びました

コレクション展第2期では、県出身の洋画家・三浦明範さん特集しました。三浦さんは、1970年代から90年代半ばにかけて、テンペラと油彩の混合技法を駆使し、精緻な筆致と澄んだ色彩にあふれる作品を多く残しました。その後、1996年から97年にかけてベルギーに滞在した際に、シルバー

ポイント（銀尖筆）による制作を始めます。以降、「日常の中にある不思議さ」や「生と死」など、画業の初期から通底するテーマを深めながら、モノクロームの作品を多く手掛けています。本展では、昨年度、新たに収蔵された作品11点を含む全15点と資料を中心に、初期から近作までの三浦さんの画業を紹介しました。来場された方々からは、三浦さんの卓越した技術と独特の世界観に感嘆する声が多く寄せられました。（担当…奈良）



【会期】
2025年10月9日（木）～
2026年1月4日（日）

※本展を記念して行った作家インタビューは、今年度発行の研究紀要『秋田美術』No.61-62号に掲載されます。



▲担当学芸員によるギャラリートーク

開催中

〈第3期〉

華と棘（ハナとトゲ）

「美しい」、だけじゃない!?」

対話型鑑賞から発想し、美術作品を見る人たちが表現されている内容やテーマから何か話し合う、もしくはイメージを膨らませるきっかけを作れないかと構成してみた展覧会です。

作品解説だけならば今までの展示でも何度となく掲示してきましたが、表現の注目部分をひとつ「棘」に例え、何故？と感じる点を作品のキャッチコピーのように大きく表示することで、自然な流れで興味関心をもっていただけようです。展示自体は入口から日本画／洋画／彫刻と流れてゆくシンプルな構成ですが、遊びに近い感覚で各作品の「棘」は何？と探してゆく楽しさを味わっていただきました。



【会期】2026年1月8日（木）
～4月12日（日）
【会場】当館6階展示室

解説無しの鑑賞と同じテーマで作品を揃えた展示構成とは趣を異にしていますが、鑑賞者が主体的にポイントとなる部分を「見つける」、そしてその見つけた内容について「考える」という鑑賞の切り口について一つの例を提示できたのかと思います。（担当…木村）



当館学芸員によるギャラリートークの様子

キンビ写真 コレクション

洋画家・小西正太郎さんがおおよそ100年前に撮影した。パリの町並みやモデルさんたちの写真とあわせて、小西さん愛用のカメラも展示しました。また、ステレオ撮影のガラス乾板から作ったプリント版を3Dスコープにセットし、画像を立体的に楽しめるコーナーも設けました。

水中写真家・中村征夫さんの写真集からは「命めぐる海」を紹介しました。その中の1点、テカギイカのお母さんは子の誕生を見届けるまで何も食べずひたすら卵を守ります。こうして最後の1匹が



▲小西さん撮影のステレオ写真を立体的に楽しんでいただきました



【会期】2025年11月22日(土)

～2026年4月5日(日)

【会場】当館5階展示室

ふ化するのを見届けると、力尽きて沈んでいきました。やがて亡骸は他の生物に食べられ、次の命につながっていきます。海の生物たちにも確かに「心」があるように感じさせてくれるシリーズでした。

この他、千葉禎介さん、大野源二郎さん、南利夫さんの全5名による写真を、前・後期あわせて473点紹介しました。(担当：藤井)



▲「命めぐる海」からは33点で紹介しました

展示報告 ふれんどリーギャラリー

『エール美術館 ～12歳の思い～』 横手市立栄小学校 第6学年

【会期】2025年12月22日(月)～2026年1月17日(土)

横手市立栄小学校6年生の授業作品『見て感じて私の表現に』14点と本展のポスター原画、それに県児童生徒美術展の出品作を合わせた17点を展示しました。授業では芸術家の作品を鑑賞し、描き方や構図などを参考にしながら



《12歳の思い》を絵に表しました。作品は、卒業目前の気持ち、6年間の思い出などいろいろで、観ているうちに胸がいっぱいになってくる展示でした。

展覧会名は学年名の『エール学年』からきています。「コロナ禍に入学した子どもたちが、困難に負けず充実した6年間を過ごせますように!」



▲2種類の鮮やかなポスター

という願いを込め、保護者のみなさんと決めたお名前だとうかがいました。

エール学年のみなさん、素敵な展示をありがとうございました!

(担当：藤井)

報告

令和7年度改修について

前回のARKでお伝えしていた空調周りに関する熱源機器の修繕は、9月から12月にかけて2基あるボイラーを交互に入れ替え無事に完了しました。作業期間と工程の調整により休館せずに作業を終えることができ、以前よりも温湿度管理がしやすかつ省エネとなりました。

昨年度のLED化に続き空調の改修も済んだことで、次なる10年に向けて一段落したところですが、なにぶん開館から32年目を迎えた建物のため今後不具合が出てくる箇所もあるかと思えます。鑑賞環境に影響ある措置が必要な場合には、館内表示やホームページでその都度お知らせしますので、今後ともご確認のほどよろしくお願いします。
(担当：木村)



Report 1

下半期実施教室・講座一覧

◆美術館教室

絵の具をつくって、描く 10/18
講師:永沢碧衣さん(絵画作家)

◆みんなの教室

保呂羽山からのおくりもの 12/6
講師:当館学芸主事

◆きつずあーと

いろとかたちのゆうえんち 2/28
講師:当館学芸主事

◆特任館長講座

《江戸時代の美術と文化Ⅳ ―さまざまなテーマから》

第6回 江戸時代中期(18世紀)の女性画家
― 画家の家族として 10/4

第7回 江戸時代後期(19世紀)の女性画家
― 自立した画家の登場 11/22

第8回 江戸末・明治の女性画家
― 激動期に生きた女性たち 12/6

Report 2

2025年度 セカンドスクール利用校一覧

●由利本荘市

県立ゆり支援学校

●大仙市

花館小学校
大川西根小学校
藤木小学校
四ツ屋小学校
神岡小学校
西仙北小学校
清水小学校
高梨小学校
横堀小学校
太田東小学校
太田南小学校
太田北小学校
中仙中学校
南外中学校

●仙北市

神代小学校
県立大曲支援学校せんぼく校

●仙北郡

千畑小学校

●横手市

認定こども園こひつじ
ますだ保育園
明照保育園
常磐保育園
金沢保育園
十文字保育園
たいゆう保育園
きらきら保育園横手
横手南小学校
朝倉小学校
旭小学校
栄小学校
横手北小学校
増田小学校
浅舞小学校

吉田小学校

醍醐小学校
雄物川小学校
大森小学校
十文字小学校
山内小学校
大雄小学校
横手南中学校
横手北中学校
増田中学校
平鹿中学校
横手明峰中学校
十文字中学校
横手清陵学院中学校
南中学区小中なかよし交流会
平鹿中学区小中なかよし交流会
県立横手支援学校
県立横手清陵学院高等学校
県立横手高等学校(定時制課程)
南かがやき教室
東かがやき教室
スペース・イオよこて
Yotte Cotto

●湯沢市

いわさきこども園
湯沢東小学校
山田小学校
雄勝小学校
皆瀬中学校
県立稲川支援学校

●雄勝郡

なるせ保育園
西馬音内小学校
三輪小学校
羽後明成小学校
高瀬小学校
東成瀬小学校



報告

令和7年度ネットワーク事業

四季を描く

～近代美術館のコレクションから～



県立図書館との共催で開催したネットワーク事業「四季を描く」では、四季を題材に描かれた当館所蔵の作品23点と、県立図書館所蔵の関連書籍11点を紹介しました。県立施設同士が連携して展覧会の内容を深めるとともに、横手市にある当館から遠い地域の方々にも、優れたコレクションを広く紹介しようとする取り組みです。会場となった県立図書館2階の特別展示室には、会期中4,800人を超えるご来場があり、連携展ならではの企画展示をお楽しみいただきました。(担当:奈良)



【会期】2025年12月11日(木)～2026年1月20日(火)
【会場】秋田県立図書館 2階特別展示室

福田豊四郎《田園抄 村童12ヶ月》(部分) 1964(昭和39)年 秋田県立近代美術館蔵

2026年上半期実施予定事業一覧

特別展

「親愛なる友 フィンセント 動くゴッホ展」..... 4/18～7/20
「第50回全国高等学校総合文化祭 あきた総文2026」
..... 7/27～7/31
「隙あらば猫 町田尚子絵本原画展」..... 8/8～10/4

コレクション展

第1期 「絵画に息づく物語」 4/24～7/12
第2期 「『みる』をあげよう」 8/14～11/1

出前美術展

出前美術展in能代エナジウムパーク
..... 8月下旬～9月頃(予定)

美術館教室 (中学生以上一般)

「日本画教室」..... 5/16, 17
講師:佐藤悟さん(日本美術院院友)
「和紙で作る 端午の節句」 9/13
講師:草薙郷子さん

みんなの教室 (小学生以上一般)

「木でつくるカラクリボックス3」 8月上旬予定
講師:当館学芸主事

特任館長講座

「江戸時代の文化と美Ⅴ 浮世絵を楽しむ」
..... 5/9, 6/6, 7/11, 8/22, 9/12



秋田県立近代美術館
AKITA MUSEUM OF MODERN ART



ホームページは
「秋田県立近代美術館」で検索!
X(旧Twitter)、facebookもご覧ください。

交通案内
お車で | 秋田自動車道・横手インターより3分
バスで | 横手バスターミナル(JR横手駅東口)
～ふるさと村15分